

「らしき」輝く附属小



第11号 令和8年 6月12日(金) 校長 森内 秀学

違いを認め合う



6/9(火)から金曜日まで、北斗の子の心を見つめる教育週間が始まりました。

6/10(水)は、特別支援コーディネーターの村崎先生による、「違いを認め合う」というテーマでの講話(左)。

その中で、「認め合うというの

は、互いの違いを大切にしながら力を合わせること」という話がありました。

子どもたちは、自分が正しいと思うあまり、ちょっとでも友達が違うことをすると、強い口調で注意したり、笑ったりすることがあります。もめごとの大半は、これです。

でも、こうした姿は、SNSで他人を誹謗中傷する、大人の姿とも重なります。

違いを認め、受け入れる寛容さは、居心地の良い空間をつくりだします。これを機会に、違いを認め合う大切さについて、御家庭でも話題にしてみてもいいのではないでしょうか。

水泳学習が始まったけど…

待ちに待った水泳の学習が始まりました(右)。天気は快晴、気温は27℃。ワクワクして着替えたものの水温は25℃。入ってみると思いのほか冷たく、慣れるまでハヤハヤ言っていました。6月の水泳の学習は、こうなりがちです。楽しませつつ、泳力がつくよう努めます。



シリーズ：専科の仕事を見てくださいませんか～その②

さて、2回目となりましたこのコーナー。御紹介するのは、低学年の音楽専科で合唱団も指導している、松本 萌子先生(左)。背面弾きで有名な、ギタリストのジミ・ヘンドリクスも真っ青なくらい、頭上に掲げた鍵盤ハーモニカをすらすらと弾く姿には、専門家のオーラが漂っていました。松本先生の素晴らしいところは、この奏法を超える美しい歌声。きっと子どもも上手になりますよ。